



## 子どもの発達支援に関する研究

保健福祉学部 作業療法学科  
助教 山西 葉子（やまにし ようこ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3406号室  
E-mail yamanisi@pu-hiroshima.ac.jp  
\*@は半角に置き換えて下さい



専門分野： リハビリテーション、発達障害、作業療法、

キーワード： 発達支援、子育て支援、新生児、発達障害、感覚統合、特別支援教育、地域連携

### ● 現在の研究について

近年、小児リハビリテーション分野は対象者が多様化しています。発達障害者支援法、教育基本法の改正が行われ、発達障がい児に対する支援施策の充実が国の重要な課題と言えます。また、近代医療が発展した一方で、極低出生体重児の増加、重度障がい児の増加、また被虐待児の増加ということも決して無視することができない問題です。さらに、障害の有無にかかわらず、子どもの体力低下、社会性の乏しさなどの発達の遅れも危惧されています。

#### 【保育活動の効果に関する研究】

地域のこども園において取り入れているトンネル遊びが、子どもの発達にどのように関係しているのか調査をしています。トンネル遊び（四つ這い運動）を集中的に行った前後で、バランス機能などの向上が認められました。エビデンスに基づいた保育、遊びの実践について取り組んでいきたいと考えています。

#### 【学校教師との協働に関する研究】

教育的視点と、作業療法的視点を組み合わせ、特性を理解した学級経営に関する研究を行ってきました。クラス全体の学校生活満足感が高まる結果を得ることができました。平成24～25年度 科学研究費補助金（挑戦的萌芽 代表）今後も継続し学校を基盤とした作業療法の実践について研究を進めていきたいと思ひます。

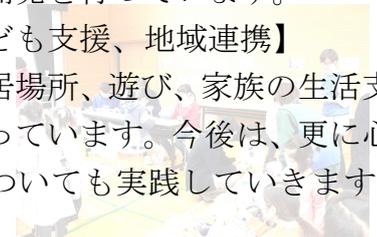
#### 【発達障がい児の支援に関する研究】

感覚統合療法の効果を検証しています。今後は

ランダム化比較試験を用い、協調運動に課題がある子を対象とした研究を進めていきます。平成27～29年度 科学研究費補助金（基盤研究C分担）その他、発達検査の開発を行っています。

#### 【災害時における子ども支援、地域連携】

災害時の子どもの居場所、遊び、家族の生活支援のための実践を行っています。今後は、更心のケア、学習支援についても実践してまいります。



### ● 今後進めていきたい研究について

- 1) 地域における親子支援システムの充実
  - ・NICU卒児の発達支援の場
  - ・母子(父子)育児支援
- 2) 特別支援教育における作業療法支援
  - 学校を基盤としたソーシャルスキルプログラムの実践
- 地域・社会と連携して進めたい内容
- 1) 病院、保健所、子育て支援機関と連携し、極低出生体重児や重度の障害を持つ子どものサポートシステム、親子支援の場を充実させたいと考えています。
- 2) 教育委員会や地域の学校、特別支援学校等と連携し、教員や児童生徒一人一人が楽しく学校生活を送れるような体制作り。
- 3) 地域の産業と医療、福祉を連携した就労支援システム作り。
- 4) 他職種、住民と協力した地域づくり。

### ● これまでの連携実績

- ・三原市、尾道市、竹原市教育委員会など
- ・保育所、こども園等、小学校、中学校、特別支援学校、定時制高校
- ・児童発達支援事業所・センター、放課後等デイサービス、放課後児童クラブ 等
- ・社会福祉協議会